

8/6・8/7

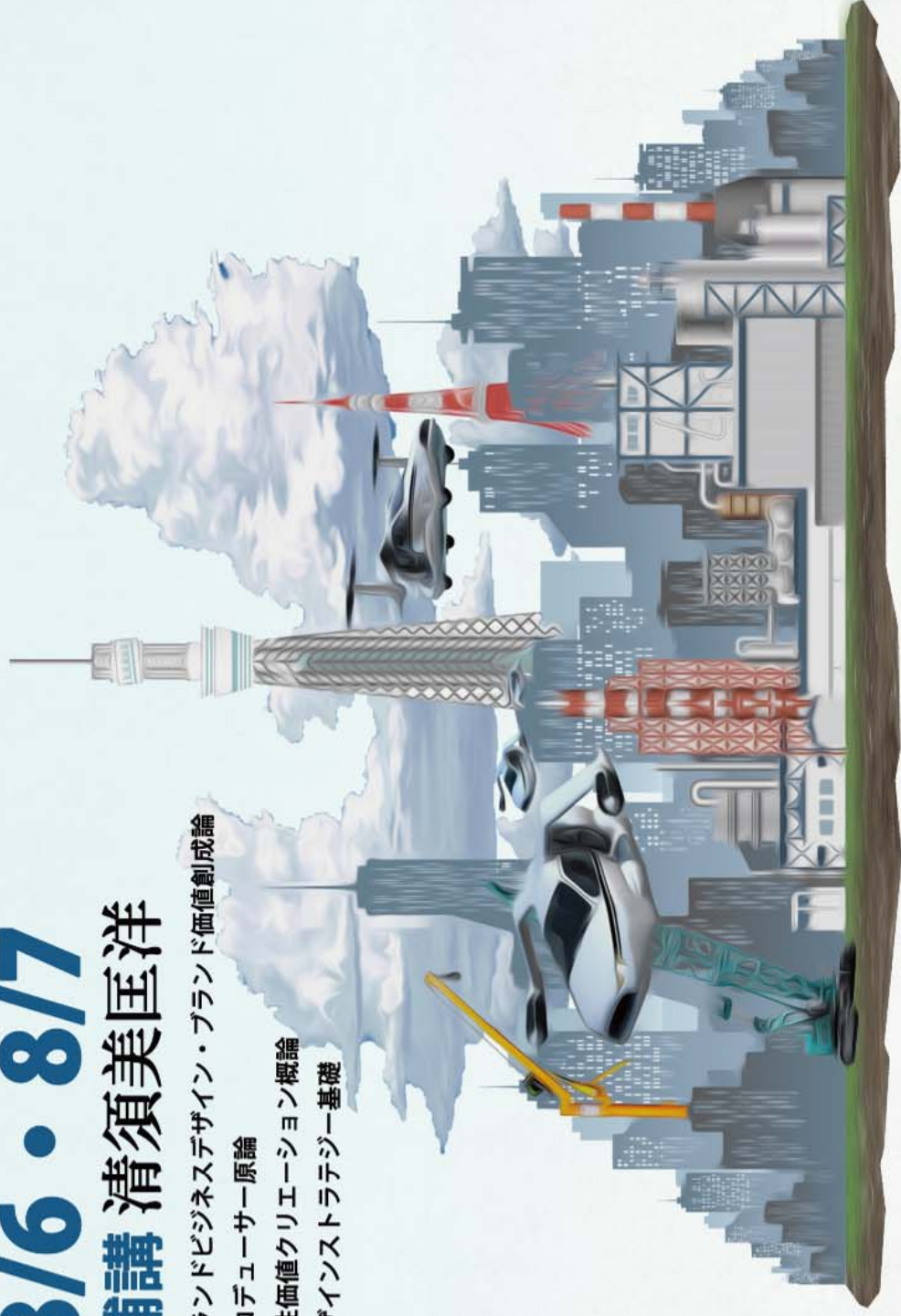
補講 清須美匡洋

ブランドビジネスデザイン・ブランド価値創成論

プロデューサー原論

感性価値クリエイション概論

デザインストラテジー基礎



広告・商品開発・まちづくり

「今、東京や現場で起きていること」

8/6 教室：5号館533

4限 14:50 - 16:20



電通 小柳 仁

「プロデューサーの仕事」

85年東京工業大学理工学研究科社会学専攻修士課程修了。同年(株)電通入社第一マーケティング局第2MMD室、プロモーション事業局プランニング&プロデュース3部を経て、現在はプランニングディレクターとして人と人との繋いで、クライアントの一番の願いを達成できるようにプロジェクトリーダー兼、責任者兼、管理者として奔走している。

休憩

16:20～17:30

6限 17:30 - 19:00



松山東雲学園 学長 棟方 信彦

「地域振興・自治体におけるブランドの役割」

ブランドやマーケティングの適用領域の進展に伴い、そのものが進化してきている。しかしその方向を導くのは、全体的な人間理解であるべきである。現実の人間の姿への注目と、人間の目指すものへの関心が、ブランドやマーケティングを活性化してゆくと信じている。人間主観的な視点からマーケティングを捉え、人間の全体的、とりわけ精神的価値観の把握と、人間の集団的行動との関係のメカニズムを研究している。

8/7 教室：5号館533

3限 13:00 - 14:30



(株)アールトゥ計画事務所代表取締役 渡会 清治

「まちづくりについて」

連携と協働的創造による都市や地域の再生という観点から、これからの地域と大学の連携のあり方を提言し、各地域の再生まちづくりの取り組みを支援するために、キャンパスマネジメントの研究者や地域・大学連携まちづくりを実践している。著書に『都市計画マニキュアル』（編著、ぎょうせい）『新・都市計画マニキュアル』（共著、丸善）『都市・農村の新しい土地利用戦略』（共著、学芸出版社）など。



権塚感性工学研究所 権塚 久雄

「売れるデザインと感性工学」

1973年工学院大学大学院工学研究科修了。現在、工学院大学情報学部教授。工学博士。世の中は「快通」な商品が溢れている。この「心地よさ」はどうやって作り出されているのだろうか？感性工学はユーザーの望む「楽しさ」「心地よさ」「面白さ」を商品やサービスという形にする研究である。聞く、見る、触れる、味わう、という私達の知っている感覚だけでなく、ワクワク感やドキドキ感、更には、懐かしさ、癒しまでも研究しそれがどこから生まれるのか？どうやってたら形にできるのか？といった感性価値創造を中心に研究している。